

意見交換会概要

日 時	平成25年 5 月 31 日 (金) 19 : 30 ~ 21 : 10
場 所	宝木地区公民館 (宝木地区北部座談会)
参加者数	10人
出席者	竹内係長、校区審議室 (神谷、小谷、清水)、山田支所長、安藤副支所長、茅山課長補佐ほか

発 言 者	主な意見、質問等
参加者A	適正な規模の話は聞いたが、適切な通学距離、或いは先生の通勤時間とか距離は、どう考えられているか。
参加者A	通学距離4 ^{km} という、宝木小学校からすれば上光(かみみつ)から下光元(しもみつもと)あたりまで。上光から鹿野は、さらに4 ^{km} ぐらい、鹿野から河内の方までは7、8 ^{km} あると思う。それらの地域の子供たちがひとつの学校に集まるということは、通学距離の適正どころか2倍、3倍にもなってしまう。その辺りの話が薄いような気がする。
参加者A	次に説明会がある時に、ほぼ方向性が決まっているような状態で、意見を出しても蹴られる可能性もあり、説明を聞く側としては、今の段階で色々と具体的なことを聞いたうえで、判断し、意見を出したい。
参加者A	だいたい統合するとメリットがあると書いてある。数十年前西部の方で自身が経験した学校統合は、バスの時刻と関連して、通学面で思うように部活が出来なかった。学習等では適正な規模だったのかもしれないが、ここに書いてあるメリットは理想的な考えで現実とは違う。現状で統合となった時に、今の路線バスの運行体系では、通学は無理であり、スクールバスを考えなければいけないと思う。その時には、どの児童生徒に併せて運行するかという問題もある。通学の問題から統合は無理だと感じている。
参加者B	規模から考える学校のあり方ということで、確かに段々と子供の数は減ってきている。教育委員会で考えているクラス数を載せてあるけれども、「統合を基本として審議をしている」という表現がしており、住民は「たたき台で上がってきたことで、こういう方向で進んで行くのではないか。」と危惧しておられる方が多い。いくらまだ決まっていないと説明しても、基本的にはこの流れで進んでいると受け取っておられる。その辺りはどう考えているか。
参加者B	気高中と青谷中の耐震結果が悪く、2地域が切羽詰った事だろうと思う。本来であれば27年に耐震改修のところだったが、この問題が浮上してきた。小規模校を考えると統合せざるを得ないのではないかということだが、鹿野で小中一貫校をされた場合は、気高と青谷の耐震問題を考えながら進めていくのか。現在地とは別のところに建てないと新しい校舎にならないというふうに説明を受けたけれども、2校の統合でも新しい学校になるのか。防災の面でも色々な機能を要求され、どこ学校も防災の拠点になっていると思うので、子供の教育のための学校ではあるけれど、地域にとっても重要なものであり、地域の活性化も含めて地域と一緒に考えていかないといけないと思う。市町村合併してからあまりいいことがない。そういうところから見たら、規模が小さくても地域に学校を残していただいて、その地域を活性化していく道を考えていただきたい。それには、単独校であっても気高中を耐震改修ではなく新築して欲しい。

意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者B	気高中学校は、風光明媚な良い学校ですし、子ども達もしっかり勉強していて、住民も誇らしい学校であるので、ぜひとも同じ場所で改築をして存続させていただきたい。体育館は耐震の対象となっているのか。かなり古いので、体育館も建替えてほしい。
参加者A	若い夫婦にとってみて、そこに住みたいということになるのは、例えば託児所、保育園、幼稚園、小学校、中学校がある。それと医療機関。それがあるかないかである。若者が定住するように、医療機関をどうするかということも振興策として打ち出してほしい。
参加者C	公民館職員という立場でもあり、小学生の保護者でもあり、色々と考えているところである。親の立場としては、具体的な部分が分からないこともあり、どうがいいのか悩んでいる状況である。公民館に関係する者の立場では、統合した場合に1校区に複数の地区、公民館が関係してくると思うので、その時の公民館とのあり方、関わり方ということが、どうなっていくのかな、と心配である。
参加者D	子どものことを考えると、少人数だと仲良し教育になってしまうので、将来性を考えて大人数の中でたくましく競争力をもって、社会性を付けていくような教育が必要だろうと思う。ただ、田舎になるほど地域と学校というのは結びつきが強いので、将来統合して学校が無くなっても、その地域が小学校を軸にするか、あるいは公民館をどうするかという2つの面を平行させて進めてほしい。
参加者F	子ども達のふるさとは、生まれ育ったところだと思う。そこが子ども達と密接なつながりがあれば、健やかに育ち、大人になってもふるさを思う心が育って行くと思うので、そういう地域でありたいし、子ども達にもそう思ってもらえるような学校であってほしい。